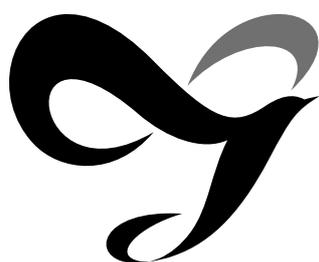


令和4（2022）年度

総合型選抜 学生募集要項



鳥 取 大 学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後、選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、受験に当たっては、以下のことに留意してください。

- (1) 日頃から感染防止について心がけるとともに、体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。なお、試験日の7日前から試験当日までは、次ページの「健康記録表」により、朝・夕に体温測定を行い、体調を把握してください。(試験当日に「健康記録表」を確認する場合がありますので、必ず持参してください。)

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～ (文部科学省・厚生労働省作成)

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



- (2) 試験日の2週間程度前から発熱、咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者や保健所等から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に該当すると指定され、試験前日までに経過観察期間が終わらない者(※1, 2)は受験できません。
※1 海外から入国後の待機期間を含む ※2 無症状の濃厚接触者を含む
- (4) 試験当日、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨試験監督者等に申し出てください。なお、試験場内において咳を繰り返すなどの症状がみられた場合には、他の受験者への感染の恐れがあるため、別室での受験又は受験を取り止めていただくことがあります。
- (5) 試験場内では昼食時を除き、必ずマスクを着用してください。なお、試験時間中に、受験者本人を確認する場合など、監督者からマスクを一旦取り外すよう指示することがありますので、その際は、指示に従ってください。(何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、事前に鳥取大学入試課に連絡してください。)
- (6) 試験当日、試験室等の換気のため、窓の開放等を行う場合がありますので、当日の気温等を確認の上、必要に応じて上着など暖かい服装を持参してください。
- (7) 試験日程上昼食をとる必要がある場合は、昼食は持参し、自席など監督者等から指示された場所で食事をしてください。休憩時間や昼食等において他者との接触、会話は極力避けてください。
- (8) 試験当日、保護者待合室は設けません。ご理解とご協力をお願いします。
- (9) 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けるようにしてください。
- (10) 日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。
- (11) 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)」のダウンロードにご協力をお願いします。
- (12) 試験終了後の数日間は継続して自主検温を行ってください。また、試験終了後数日以内に発熱・咳等の症状があり、検査の結果、新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、至急、鳥取大学入試課まで連絡してください。

※上記の対応について、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、変更することがあります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

■目 次

1. 入学者受入れの方針	1
2. 募集人員・出願要件・選抜方法等	7
3. 出願手続	9
4. 受験票のダウンロード・印刷	16
5. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項	16
6. 障がい等のある入学志願者の事前相談	17
7. 第1次選考	18
8. 第2次選考	19
9. 合否判定方法	22
10. 合格発表	22
11. 入学手続等	23
12. 入学前教育	24
13. 学生生活案内	25
14. その他	26
ノート型パソコンの必携について	27
入学に必要な学部別納入経費（予定）	28
問合せ先	29

総合型選抜スケジュール

出 願 期 間	令和3年 9月 1日(水)～ 6日(月)
第 1 次 選 考 面 接	令和3年 9月 18日(土)～29日(水)
第 1 次 選 考 結 果 発 表	令和3年 10月 6日(水)
第 2 次 選 考	【地域学部】 令和3年 10月 16日(土)～17日(日)
	【工学部】 令和3年 10月 16日(土)
	【農学部】 令和3年 10月 16日(土)～17日(日)
合 格 発 表	令和3年 11月 1日(月)
入 学 手 続 期 限	令和3年 11月 8日(月)

<新型コロナウイルス感染症の感染拡大並びに不測の事態が発生した場合の対応について>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況並びに大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

【鳥取大学入学試験情報ホームページ】

PCサイト：<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

スマホ・携帯電話サイト：<https://daigakujc.jp/toridai/>



(スマホ・携帯電話サイト)

1. 入学者受入れの方針

鳥取大学は、本学の基本理念である「知と実践の融合」を志向し、知識を深め理論を身につけるとともに、実践を通して地域から国際社会まで広く貢献したいという意欲を持ち、これに必要な能力を高めることを志す次のような人を広く受け入れます。

1. 文化、社会、自然に関し、高等学校等において履修する科目の基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、課題や問題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して社会貢献を志す人

各学部・学科等では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などにより多面的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

【学部・学科等の入学者受入れの方針】

地域学部

地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探究し、地域の持続的発展に貢献したいという意欲をもった、次のような人を求めます。

1. 地域学を学ぶにあたり、高等学校等において身につける、文化、社会、自然に関する基礎的な知識・技能を有する人
2. 地域学を学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、地域の諸課題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して地域社会の持続的な発展への貢献を志す人

地域学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

■ 地域学科地域創造コース

地域創造コースでは、多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や、地域のさまざまな資源を有効に活用し、発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 地域の多様な課題に興味をもち、それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2. 多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3. 地域の様々な資源を有効に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

[総合型選抜で求める人物像]

次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。

1. 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
2. 地域の様々な資源を効果的に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

[選抜方法と求める能力の関連]

地域学科地域創造コース								
選抜方法		求める能力					配点	備考（活用方法など）
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
第1次選考	調査書	○			○		40	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○			英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○		60	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
第2次選考	スクーリング	○	○				300	スクーリングは、地域創造に関する基礎的講義を行う。その内容を踏まえて出題する課題論文とあわせて評価する。
	課題論文	○	○	○	○	○		
	グループディスカッション	○	○	○	○	○	300	講義内容を素材にしたテーマについて討論を行う。
	個人面接	○	○	○	○	○	300	志望理由、関心のある地域課題、高校生活等について問う。
合計							1,000	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行うが、最終的な合否判定は、第1次選考と第2次選考の合計で行う。

■ 地域学科人間形成コース

人間形成コースでは、学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成を目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2. 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
3. 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる教師、保育士などの仕事を強く望む人

[総合型選抜で求める人物像]

次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。

1. 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2. 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人

[選抜方法と求める能力の関連]

地域学科人間形成コース							
選抜方法	求める能力				配点	備考（活用方法など）	
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性			
第1次選考	調査書	○			○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○		英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○	30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	合 計						50
第2次選考	小論文	○	○	○		60	地域教育に関する課題文（英文を含む）を踏まえた小論文と口頭発表を行う。
	口頭発表		○	○	○	40	
	グループディスカッション		○	○	○	40	地域教育に関するグループディスカッションを行う。
	個人面接	○	○	○	○	60	志望理由、小論文・口頭発表を題材にした質問などを行う。
	合 計						200

■ 地域学科国際地域文化コース

国際地域文化コースでは、現代社会の構造と文化的特質、グローバルな文化と芸術文化、地域の生活文化など、文化の様々な側面を、歴史性・多様性・関係性・生活における意味などから理解することを目指します。それを踏まえて、日本を含む世界の様々な地域で、異質なものを相互に認め合いながら、「一人ひとりの生活と生の充実」「つながりの創出」を実現するために必要な実践的知識や技法、言語能力や現地感覚・現場感覚を身につけた人材を養成します。そこで本コースは、広く次のような人を求めています。

1. 様々な文化（言語・文学・歴史など）について深く学び、それを地域づくりに活用したい人
2. 芸術文化（音楽・美術・舞踊・アートマネジメント・映像など）について深く学びたい人
3. 地域の文化を多様な視点から調査・分析する意欲のある人
4. 多様な文化に触れ、国際的感性と実践的言語コミュニケーションの力を身につけたい人
5. 地域の文化的課題に取り組み、創造的地域づくりのキーパーソンを目指したい人

[総合型選抜で求める人物像]

次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。

1. 様々な文化（言語・文学・考古・歴史・芸術など）に関心があり、文化を通して創造的な地域の発展に貢献したい人
2. 国際的感性と実践的言語コミュニケーション力を身につけて、多様な文化をもつ人々と関係を構築したい人

[選抜方法と求める能力の関連]

地域学科国際地域文化コース								
選抜方法		求める能力					配点	備考（活用方法など）
		知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	創造性		
第1次選考	調査書	○			○		20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○			英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○		30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	合 計						50	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	グループディスカッション	○	○	○	○		150	与えられた課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。
	課題論文	○	○	○		○	150	文化、コミュニケーションに関する課題を出題する。
	個人面接		○	○	○	○	100	コース志望理由、課題論文を題材にした質問などを行う。また、基礎的な英語力を問うこともある。
	合 計						400	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

工学部

工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1. 地球の環境，人類の幸福・福祉に関心を持ち，社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2. 基礎知識や専門知識を学修し，学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4. 他者の意見を聞き，自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ，それを活用する意欲のある人

工学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

■ 社会システム土木系学科

社会システム土木系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2. 広く物事に関心を持ち，幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3. 人類の安全と平和，ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人
4. 人類と自然との調和を図り，持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5. 計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人
6. 他者と協働し，社会の変化に対応した知識，能力，技能を身につけたいと考えている人

〔総合型選抜で求める人物像〕

学科の研究・教育のうち、特に経営工学に興味を持ち、さらに次のような人を求めます。

1. 社会や政治，経済に興味があり，新聞や論説をよく読んでいる人
2. 日本だけでなく，外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人
3. いろいろな事柄の仕組みについて，過去のしきたりにとらわれずに新たに創造することが好きな人

〔選抜方法と求める能力の関連〕

選抜方法		求める能力			配点	備考（活用方法など）
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
第1次選考	調査書	○		○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○		英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	30	調査書，志望理由書，自己推薦書を活用し面接を行う。
	合 計				50	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	講義等理解力試験	○	○		100	入門的な講義の受講及びその内容に関する理解力を問う試験を行う。
	小論文	○	○		100	現在の社会的な問題に関する課題を出題する。
	個人面接		○	○	200	志望理由書及び自己推薦書等を活用し実施する。
	口頭試問	○	○	英語・数学に関する基礎的な学力を問う。なお、講義等理解力試験及び小論文の内容を問うこともある。		
	合 計				400	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

農学部

農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 文化、社会、自然に関する基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得している人
3. 自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人
4. 倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人
5. 食料、環境、いのちについて強い関心を持ち、自主的、自発的に学ぶ意欲を持つ人
6. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

■ 生命環境農学科

生命環境農学科では、農学部の入学者受入れの方針に基づき、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 食料、環境、生命に関心を持ち、高等学校等で履修する科目の基本的な知識を有する人
2. 基礎的な科学的思考力と判断力を持ち、その多面的な向上と深化を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、乾燥地の農業や環境問題、地域資源の保全や活用、生物資源の発掘や育種、生命現象の解明や応用について主体的に探究する意欲を持つ人
4. 健全な倫理感と使命感を持ち、自身の考えを表現する力、力を合わせて活動する力を備える人

生命環境農学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、意欲などと関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

[総合型選抜で求める人物像]

チームワーク重視型

総合型選抜では、特に次の各号に該当する人

1. 自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2. 傾聴力を有する人
3. 協調性を有する人

[選抜方法と求める能力の関連]

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲		
第1次選考	調査書	○			○		20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○			英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○		30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	合計						50	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	課題論文 個人面接		○	○	◎	◎	60	面接は、課題論文・出願書類を活用する。英語等の基礎知識を問う試問も含む。
	グループディスカッション				○	◎	40	試験当日に与えられるテーマについて討論する。
	合計						100	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

2. 募集人員・出願要件・選抜方法等

地域学部

実施学科等	地 域 学 科		
	地域創造コース	人間形成コース	国際地域文化コース
募集人員※	10人	4人	5人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、P.16の「5. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項」を確認してください。</p>		
選 抜 方 法 等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書、調査書及び面接により総合判定します。また、英語の民間試験をはじめ、高難度の資格についても評価します。	
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、課題論文、スクーリング、グループディスカッション等及び個人面接を実施します。最終的な合否判定については、地域創造コースは第1次選考と第2次選考の結果を総合判定し、人間形成コース及び国際地域文化コースは第2次選考の結果を用いて総合判定します。	

工 学 部

実施学科	社会システム土木系学科		
募集人員※	2人		
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、P.16の「5. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項」を確認してください。</p>		
選 抜 方 法 等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書、調査書及び面接により総合判定します。また、英語の民間試験をはじめ、高難度の資格についても評価します。	
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、講義等理解力試験、小論文、基礎学力を問う口頭試問及び個人面接の結果を用いて総合判定します。	

農学部

実施学科	生命環境農学科	
募集人員※	12人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、P.16の「5. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項」を確認してください。</p>	
選抜方法等	第1次選考	志望理由書，自己推薦書，調査書及び面接により総合判定します。また，英語の民間試験をはじめ，高難度の資格についても評価します。
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して，第2次選考を行います。第2次選考では，課題論文，グループディスカッション及び個人面接（英語等の基礎知識を問う試問を含む。）の結果を用いて総合判定します。

※合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程・後期日程）の合格者で補充します。

3. 出願手続

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和3年9月1日(水)～9月6日(月)
出願書類等提出期間	令和3年9月1日(水)～9月6日(月) (必着)

(2) インターネット出願の流れ



インターネット出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。
上記出願期間内に書類等を郵送（必着）する必要があります。

(3) 出願方法

出願はインターネット出願のみとします。

入学志願者は、上記出願期間中に本学の「インターネット出願ページ」より、インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ、なおかつ P. 12③記載の出願書類等を本学に郵送してください。

出願にあたって準備するものや検定料の支払方法等の詳細は、P. 11～12①～③を確認してください。

【郵送方法】

1. 市販の角形 2 号封筒 (24cm×33.2cm) に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した出願書類等提出用封筒宛名ラベルを貼り付けてください。(郵送先は自動で印字されます。)

2. 上記 1. で作成した出願書類等提出用封筒に P. 12③記載の出願書類等をすべて封入し、必ず**簡易書留・速達で 9 月 6 日 (月) までに必着**となるように郵送してください。

(これ以降に到着した場合は、9 月 5 日 (日) 以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。)

郵便事情を十分考慮して発送してください。)

(注 1) 出願書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

(注 2) 出願書類等を持参する場合は、出願期間内の平日 9:00 から 17:00 まで、学生部入試課 (共通教育棟 2 階) で受け付けます。

【問い合わせ先等】

○インターネット出願登録の方法、検定料支払方法に関する問い合わせ先
(株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL: 0120-202-079 (24 時間 365 日対応)

○入試に関する問い合わせ先
鳥取大学学生部入試課
TEL: (0857) 31-5061 (平日 9:00～17:00)

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>



①インターネット出願登録のために事前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。（スマートフォンによってはご使用になれない場合があります。その場合はパソコンをご使用ください。）
印刷環境	出願書類及び受験票等を印刷するため、A4用紙で印刷することができるカラープリンターが必要です。
メールアドレス及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要です。出願登録時に確認メールを送信します。 また、迷惑メール対策としてメールの受信制限を行っている場合は、確認メールが届かないことがありますので、「@e-apply.jp」を受信可能なドメインとして設定してください。
志願者本人の顔写真データ	出願には志願者本人の顔写真データ（jpeg, png, bitmap, gif）が必要です。 上半身・無帽・正面向き・無背景・カラーで、提出前3か月以内に撮影した鮮明な写真をご準備ください。ファイルは2MBまでとします。 なお、出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。

詳細は、インターネット出願ページ「事前準備」<<https://e-apply.jp/e/tottori-u/guide/junbi.html>>をご確認ください。

②検定料（17,000円）支払方法等

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM（ペイジー対応）、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までです。ただし、インターネット出願登録を完了した日から4日に満たず出願締切日時（9月6日（月）17:00）になる場合は、出願締切日時までとなります。

なお、振込手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

それぞれの支払方法に関する詳細は「インターネット出願ページ」をご確認ください。

※検定料の返還について

既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記(1)～(3)に該当する場合は、必ず学生部入試課（TEL（0857）31-5061）へ連絡してください。返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。

③出願書類等

志望理由書	本学のホームページ（鳥取大学入学試験情報＞[学部入試]学生募集要項＞出願書類（様式）のダウンロード）から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。
自己推薦書（No. 1）	本学のホームページ（鳥取大学入学試験情報＞[学部入試]学生募集要項＞出願書類（様式）のダウンロード）から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。
自己推薦書（No. 2） ※該当者のみ	本学のホームページ（鳥取大学入学試験情報＞[学部入試]学生募集要項＞出願書類（様式）のダウンロード）から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。 自己推薦書の資格・検定欄の英語の検定に該当する者は合格証等の写しを同封してください。その他の資料等（賞状の写し、論文、写真、CD等）は提出しないでください。記入する資格・検定がない場合は、提出する必要はありません。
調 査 書	<p>文部科学省所定の様式により、出身高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。（調査書が2枚以上となる場合、2枚目以降の調査書の右上に志願者氏名を記載するなど、その真正性が確実に確認出来るように一綴の資料としてクリップ留め等（なるべくホッチキスは避けてください。）で提出してください。なお、A3判で提出される場合は、A3用紙の左右に印刷（両面可）してください。）</p> <p>（注） 次の(1)～(3)に該当する場合は、卒業証明書に加えて単位取得証明書又は成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等、入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。</p> <p>※単位取得証明書又は成績通信簿の写し等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長等からの「単位取得証明書が発行できない旨の文書」を提出してください。</p> <p>(1) 「指導に関する記録」が保存年限（5年）を超えている場合 (2) 指導要録の保存年限（20年）を超えている場合 (3) 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合</p> <p>高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定試験合格者を含む。）は、当該試験の合格成績証明書を提出してください。なお、高等学校に在籍したことのある者は、在籍期間中の成績証明書を併せて提出してください。</p>
通知書等返送用封筒 (384円分の切手を貼付)	市販の長形3号封筒（12 cm×23.5cm）に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した通知書等返送用封筒宛名ラベル及び384円分の切手を貼り付けてください。

- (注) 1. 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。（訂正印は不要）
2. 出願書類等に記入もれ、その他不備のある場合は受付しません。
3. 出願書類等受付後は、原則記載事項の変更は認めませんが、**出願書類等提出後に本人連絡先を変更した場合は直ちに鳥取大学学生部入試課に連絡してください。**
4. 出願書類等の記載内容に相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
5. 出願書類等は、受理後いかなる理由があっても返却しません。

志望理由書

氏名	
<p>志望理由（学科・コースを志望する理由を書いてください。例えば、学びたい学問分野やテーマ、そのように考えるに至ったきっかけと経緯、本学を選ぶ理由等、自分自身の言葉で文章にまとめてください。）</p> <p style="text-align: center; font-size: 48px; color: #ccc;">見 本</p>	

※必ず志願者本人が黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。

※不足する場合はこのページを追加印刷して記入しても構いません。※追加印刷は1枚まで

自己推薦書 (No. 1)

氏名	
<p>1. 自己推薦（部活動，生徒会活動，委員会活動，学業，研究活動，ボランティア活動，地域での活動，留学等の中で，あなたが最も力を入れて取り組んできたことについて，目標や成果獲得に向けた取り組み過程を記述しながら，自己を推薦する文章にまとめてください。）</p> <p style="text-align: center; font-size: 48px; color: #ccc;">見本</p>	

※必ず志願者本人が黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。

※不足する場合はこのページを追加印刷して記入しても構いません。※追加印刷は1枚まで

自己推薦書 (No. 2)

氏名	
<p>2. 資格・検定（自己推薦の内容や学業に関連する資格・検定があれば記入してください。）</p> <p style="text-align: center; font-size: 48px; opacity: 0.3;">見本</p>	

[留意事項]

- ・ 英語の検定（英検，GTEC，TOEIC など）については，検定を記入のうえ，合格証の写し又はスコア証明書の写しを同封してください。
（英語以外の資格・検定については同封の必要はありません。賞状の写し，論文，写真，CD等は提出しないでください。）
- ・ 記入する資格・検定がない場合は，自己推薦書（No.2）を提出する必要はありません。また，提出がない場合は，資格・検定がないものとして扱います。

(4) 入学志願者の個人情報の取り扱いについて

- ① 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、法律に基づく場合を除き、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のため行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務を行うために利用するとともに適切に管理します。
- ② 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，高等学校等コード，性別，生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って，総合型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が，大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は一切行いません。

(5) 一般選抜等への出願について

本学の総合型選抜に不合格となった者は，本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜，一般選抜（前期日程・後期日程）に出願することができます。

4. 受験票のダウンロード・印刷

受験票は出願書類を受理後，令和3年9月13日（月）（予定）からインターネット出願サイトでダウンロードが可能になりますので，インターネット出願サイトにログインして，ダウンロードの上，印刷してください。なお，受験票の印刷が可能になりましたら，出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信してお知らせします。（「受験票ダウンロード通知メール」が届かない場合でも受験票の印刷は可能です。）

受験票は試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので，大切に保管してください。

【印刷にあたっての留意事項】

- ① インターネット出願サイトのログインには出願登録時の【受付番号（数字 12 桁・生年月日・メールアドレス）】が必要です。
- ② 必ず **A4 サイズでカラー印刷** してください。
- ③ 印刷後，切り取り線に沿って所定のサイズに切り取ってください。
- ④ 受験票と一緒に「受験票の取扱い」及び「受験上の注意」が印刷されますので，熟読の上，試験当日に受験票と併せて持参してください。

受験票は郵送しません。必ず各自で印刷して準備してください。

5. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項

出願資格のうち，学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 7 号の規定により出願する場合は，出身教育施設での学習内容及び当該教育施設のエデュケーションについて，個別の入学資格審査を行う必要がありますので，事前に申請方法をお問い合わせください。

お問い合わせ先 学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学資格審査申請書提出期限 令和 3 年 8 月 20 日（金）17 時まで（必着）

6. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のため、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和3年8月20日（金）までに、入学志願者事前相談書に必要事項を記載し、医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学学生部入試課へ提出してください。

なお、上記期限後に、不慮の事故等により、配慮が必要となった者は、速やかに相談してください。

おって、本学が必要と認めた場合、本学で志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等と面談等を行います。

○入学志願者事前相談書

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/consultation>

○提出先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学学生部入試課

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

(注) 障がい等の種類や程度によっては対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

7. 第1次選考

(1) 選抜方法

第1次選考は、書類選考及び個人面接により行います。

※第1次選考の個人面接は、各学部学科コースの総合型選抜で求める人物像（P.2～6を参照）に基づき、入学への意欲や勉学への熱意等をみるものです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、個人面接を実施せず、書類選考のみで選考を行う場合があります。その場合、ホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

(2) 日程・会場【地域学部・工学部・農学部共通】

試験日	試験時間	試験会場
令和3年9月18日（土） ～19日（日）	午前9時30分～午後5時00分	大阪 [大阪ガーデンパレス] (大阪市淀川区西宮原1-3-35)
令和3年9月20日（月）	午前9時30分～午後5時00分	福岡 [八重洲博多ビル] (福岡市博多区博多駅東2-18-30)
令和3年9月21日（火） ～22日（水）	午前9時30分～午後5時00分	岡山 [岡山コンベンションセンター] (岡山市北区駅元町14-1)
令和3年9月23日（木）	午前9時30分～午後5時00分	東京 [AP品川] (東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル8F)
令和3年9月24日（金）	午前9時30分～午後5時00分	名古屋 [AP名古屋] (名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMA Iビル8F)
令和3年9月27日（月） ～29日（水）	午前9時30分～午後5時00分	鳥取 [鳥取大学鳥取キャンパス] (鳥取市湖山町南4-101)

※試験時間は延長されることがあります。

(3) 第1次選考受験上の注意事項

- ① 第1次選考の面接の試験日程・会場は上記(2)のとおりです。
インターネット出願時に希望する面接試験会場を選択してください。選択された内容に基づき、本学が面接会場及び試験日時を決定し、面接試験日時を記載した受験票を交付します。
- ② 第1次選考面接試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。
なお、本学の受験票は、第2次選考でも必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- ③ 第1次選考面接試験会場には、本学が上記①によって通知した面接試験時間の20分前までに集合し、所定の試験会場の鳥取大学総合型選抜受付で受付を行ってください。
- ④ 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、受験票等交付の際にお知らせしますので、必ず確認してください。

8. 第2次選考

(1) 科目等の実施時間及び内容等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、選抜方法を変更する場合があります。その場合、ホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

地域学部

試験場：地域学部棟

学科等	試験日	時間	科目	内容等	
地域学科	令和3年10月16日(土)	10:00~11:30	スクーリング	地域創造に関する基礎的講義	
		13:00~14:30	課題論文	講義内容についての理解力、論理的表現力を問う小論文	
		令和3年10月17日(日)	9:30~12:00	グループディスカッション	講義内容を素材にしたテーマについて討論
			13:30~17:00	個人面接	コース志望理由、関心のある地域課題、高校生活等について質問
	人間形成コース	令和3年10月16日(土)	10:00~12:00	小論文	地域教育に関する課題文(英文を含む。)を踏まえた小論文と口頭発表
			13:30~17:00	口頭発表	
		令和3年10月17日(日)	9:30~11:00	グループディスカッション	地域教育に関するグループディスカッション
			12:30~16:00	個人面接	コース志望理由、小論文・口頭発表を題材にした質問など
	国際地域文化コース	令和3年10月16日(土)	12:00~17:00	グループディスカッション	与えられた課題に関する口頭発表と質疑応答
			9:30~11:00	課題論文	文化、コミュニケーションに関する課題
		令和3年10月17日(日)	13:30~17:00	個人面接	コース志望理由、課題論文を題材にした質問など
					また、基礎的な英語力を問うことがあります。

工学部

試験場：工学部棟

学科	試験日	時間	科目	内容等
社会システム土木系学科	令和3年10月16日(土)	9:30~12:00	講義等理解力試験	入門的な講義の受講及びその内容に関する理解力試験
		13:00~14:00	小論文	現在の社会的な問題に関する課題
		14:30~17:00	個人面接・口頭試問	個人面接：志望理由書及び自己推薦書等をもとに実施 口頭試問：英語・数学に関する基礎的な学力を確認 なお、講義等理解力試験及び小論文の内容を問うことがあります。

農学部

試験場：農学部棟

学科	試験日	時間	科目	内容等
生命環境農学科	令和3年10月16日(土)		課題論文	農学などに関する課題 (第1次選考合格者にお知らせします。)
		13:00~17:00	グループ ディスカッション	試験当日与えられるテーマについての グループ討論
	令和3年10月17日(日)	9:00~17:00	個人面接	課題論文・出願書類をもとに実施。 質疑応答(英語等の基礎知識を問う試 問を含む。)

(2) 第2次選考受験上の注意事項

- ① 第2次選考試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。
なお、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。
- ② 第2次選考試験当日は、試験開始時刻 30 分前までに志望する学部の指示する場所に集合してください。
- ③ 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、第1次選考結果通知の際にお知らせしますので、必ず確認してください。
- ④ 試験開始から終了までの間は退室を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- ⑤ 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆(シャープペンシル可)、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能が有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)及び指定された物品以外の携行品を置くことはできません。
- ⑥ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
- ⑦ 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
なお、各試験室の位置等については、試験前日の15時から、各試験場入口に掲示します。
- ⑧ 本学は、構内全面禁煙です。
- ⑨ その他学部から別途指示がある場合は、それに従ってください。

令和3年度総合型選抜第2次選考における選抜のポイント、面接・論文等の出題例等を鳥取大学ホームページで公開しています。ただし、令和4年度総合型選抜がそのまま行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、総合型選抜の過去問題(過去3年分)は、ホームページに掲載するとともに、平日9:00~17:00に鳥取キャンパスは学生部入試課、米子キャンパスは米子地区事務部学務課で閲覧できます。

URL <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/examination>

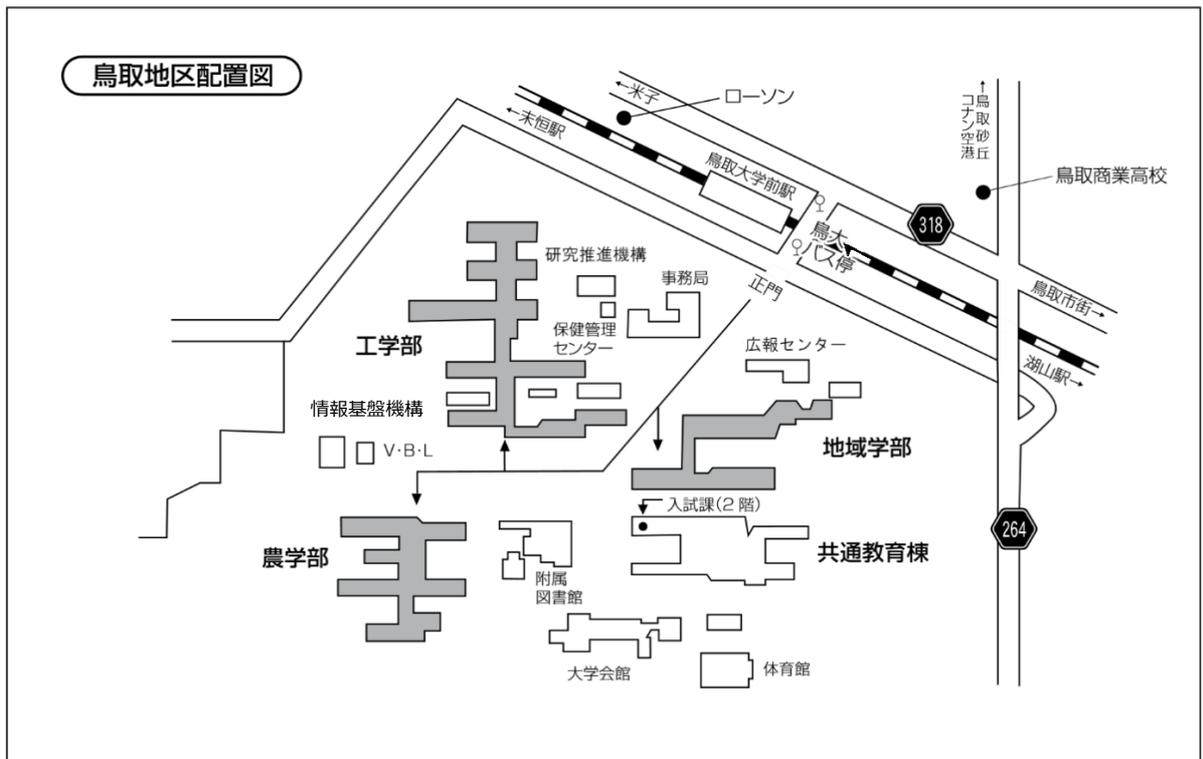
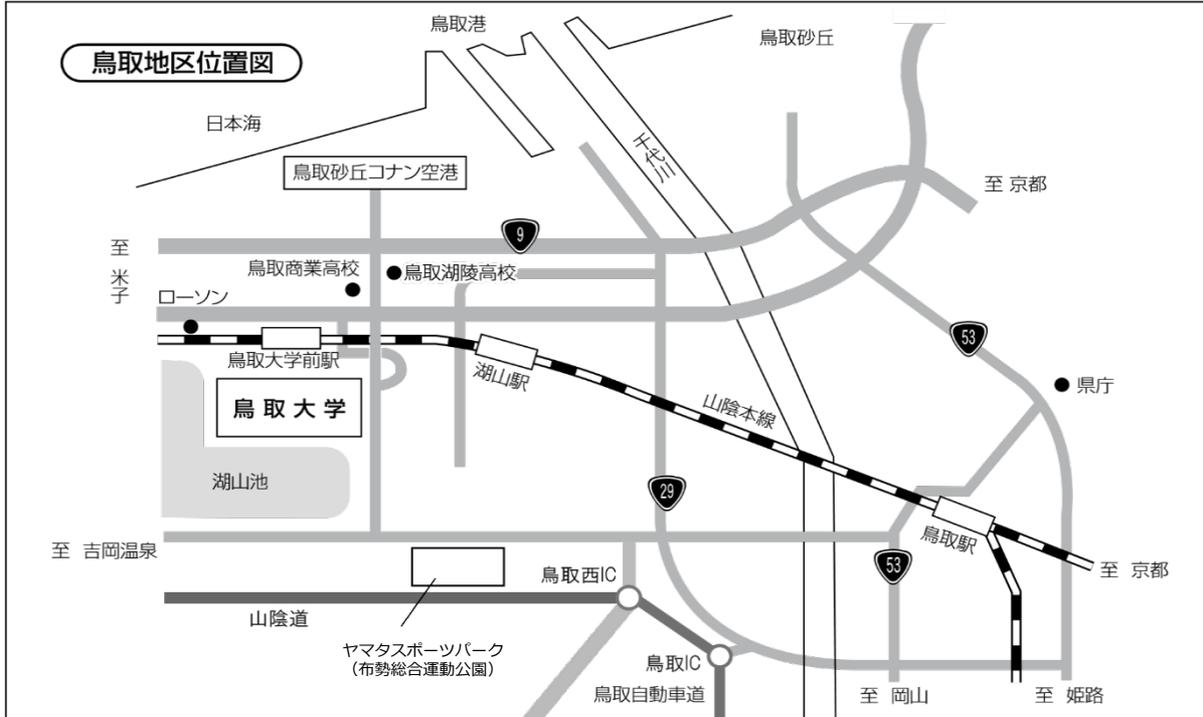


第2次選考試験場案内（地域学部，工学部，農学部）

①試験会場への案内

- JR 鳥取大学前駅で下車すぐ ●鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約5分，徒歩約30分
- JR 鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し，「鳥大」下車（所要時間約30分）

②位置図及び配置図



9. 合否判定方法

学 部	学 科 等		合 否 判 定 方 法
地域学部	地域学科	地域創造コース	第1次選考と第2次選考の結果を、総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。 同点の場合は、同順位とします。
		人間形成コース	第2次選考の結果を、総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。 同点の場合は、同順位とします。
		国際地域文化コース	
工学部	社会システム土木系学科		第2次選考の結果を、総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。 同点の場合は、同順位とします。
農学部	生命環境農学科		

10. 合格発表

(1) 第1次選考結果 令和3年10月6日(水)

受験者全員に、第1次選考結果を送付するとともに、鳥取大学ホームページ (<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>) に第1次選考合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃)

(2) 第2次選考結果 令和3年11月1日(月)

合格者に、合格通知書を送付するとともに、鳥取大学ホームページ (<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃)

※掲示による発表は行いません。

※電話等による合否のお問い合わせには、一切応じません。

※試験当日又は前日に、大学周辺や主要の駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

11. 入学手続等

(1) 手続期限・場所

合格者は、入学手続書類を令和3年11月8日(月)17時までに**必着**となるように「**簡易書留・速達**」として、送付してください。

来学のうえ手続される場合は、事前に電話連絡のうえ、入学手続書類を揃え、令和3年11月8日(月)17時までに、次の「入学手続場所」で手続を行ってください。(受付時間：平日9時～17時)

○送付先・入学手続場所

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学学生部入試課(共通教育棟2階)
入学手続の詳細については、合格者に別途お知らせします。

(2) 入学手続時に提出するもの

- ① 令和4年度鳥取大学総合型選抜受験票(入学手続完了後、返却します。)
- ② 入学料振込済証明書
- ③ 学生証用写真台紙(本学所定の様式(写真貼付※))
※縦4cm×横3cm。正面・無帽・肩口まで・無背景で、提出前3か月以内に撮影したもの
- ④ 卒業証明書(卒業見込みで受験した者は、卒業式後に学生部入試課まで提出してください。)
- ⑤ 上記以外の本学所定のもの

(3) 入学料等

① 入学料 282,000円(予定額)

- ・合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期限までにお振込みください。
- ・振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ・入学手続は入学料を納入し、かつ手続期限までに(2)の入学手続書類を提出しなければ完了となりません。なお、納入された入学料は、返還できません。

② 授業料 年額 535,800円 [前期分 267,900円 後期分 267,900円](予定額)

- ・納入期限は、前期は5月末日、後期は11月末日です。
- ・本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ・口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(注) 上記の入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

(4) 留意事項

- ① 総合型選抜の合格者の入学辞退は、原則として認められません。
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和4年2月16日(水)までに「入学辞退願」(様式任意)を提出し、その許可を得なければなりません。
- ② 総合型選抜の合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)を受験しても合格者となりません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。
この場合、いずれの国公立大学・学部の個別試験を受験しても入学許可を得られません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。

12. 入学前教育

- (1) 総合型選抜合格者は、合格が決まってから入学まで5か月もの長い時間があります。その時間を有効に使い、大学生生活のスタートを応援するために入学前教育を実施します。在籍する学校長のご理解をいただいた上で、高等学校教育への影響を配慮しながら、「Web 研修」、入学センター及び合格した学部・学科が e-Learning やレポート等の提出など、生活面、学習面のサポートをします。詳細は、合格通知書とともに案内します。

入学前 Web 研修日：11月13日（土）

- (2) 工学部社会システム土木系学科では、入学後の指導の参考にするため、以下に指定した大学入学共通テスト3教科5科目について、可能な限り受験し、自己採点の結果を報告してください。

数 学：数学Ⅰ・数学A（必須）と〔数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎〕から1科目
理 科：物理（必須）と〔化学，生物，地学〕から1科目
外国語：英語（リスニングを含む）

13. 学生生活案内

(1) 学寮，民間アパート等

学寮の詳細については，学生部学生生活課学生支援係（TEL（0857）31-5058）へ，民間アパート等については，鳥取大学生生活協同組合（TEL（0857）28-1100）等へお問合せください。

※鳥取大学ホームページ参照

鳥取大学ホームページ>キャンパスライフ>学生生活サポート>学寮，アパート・マンション

(2) 入学料・授業料の減免

国の修学支援制度（令和2年4月から開始）により住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生について，日本学生支援機構による給付奨学金と併せて入学料・授業料の減免を行います。

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

(3) 国の教育ローン，提携教育ローン

① 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき，在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については，日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

② 提携教育ローン（オリエントコーポレーション）

入学料・授業料を対象にした(株)オリエントコーポレーション（オリコ）との提携教育ローンです。

オリコが保護者に代わって大学に一括納入し，毎月の返済については複数の返済プランの中から選ぶことができます。

詳細については，オリコ学費サポートデスク（0120-517-325）へお問い合わせください。

(4) 奨学金制度

人物・学業ともに優秀かつ，経済的理由により修学が困難と認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，奨学金が貸与される制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類	貸与月額（令和3年度）	貸与期間	備考
第一種奨学金	20,000円，30,000円 45,000円（自宅通学）， 40,000円，51,000円（自宅外通学）	最短修業年限まで	無利息
第二種奨学金	20,000円～120,000円（1万円単位） から選択可	最短修業年限まで	利息付 （利率は年3.0%が上限）

② その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか，都道府県や市町村の奨学金，民間の各種育英団体による奨学金があり，大学の推薦によるものとそれぞれの公募により直接申し込みするものがあります。

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険

この保険制度は，正課，学校行事，課外活動，通学中並びに学校施設内での傷害事故（ケガなど）が起きた場合の補償制度で，本学では，全員加入としています。

※農学部の学生は，学研災付帯賠償責任保険も，全員加入です。

詳細については，保健管理センター（TEL（0857）31-5065）へお問い合わせください。

14. その他

(1) 入試情報の開示

総合型選抜については、受験者の個人成績及び合格者の成績等の開示はしません。

(2) 総合型選抜に関するお問い合わせ先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地
鳥取大学学生部入試課
TEL (0857) 31-5061
FAX (0857) 31-6778

ノート型パソコンの必携について

○ノート型パソコン必携のお願い

情報化が急速な進化を遂げている現代社会において、専門分野の知識のみならず、高度な情報処理能力や、情報セキュリティ能力の備わった優秀な人材を育成することが不可欠であるため、新入生全員にノート型パソコンを必携していただいています。

ノート型パソコンは、情報教育や英語教育、専門科目等の授業において使用するほか、講義レポートの作成や提出、修学上必要となる履修登録や自己の成績確認、授業料免除申請及び奨学金貸与の申込みなど、様々な用途で幅広く活用することになります。

つきましては、ご入学に際して保護者の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、本学における教育方針等をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

※ご準備いただくパソコンの性能等の情報は2月下旬にお知らせする予定です。

○経済的事情によりノート型パソコンの準備が困難な方へ

本学では、経済的事情によりノート型パソコンを準備することが困難な方に対する措置として、大学所有のノート型パソコンを授業時間等に限り貸し出します。

※詳細は、2月下旬にお知らせする予定です。

※ ノート型パソコン必携に関する問い合わせ先

学生部教育支援課教務支援係 (TEL (0857) 31-6774)

入学に必要な学部別納入経費（予定）

入学にあたっては入学料・授業料のほか、以下の経費が必要となりますのでご確認ください。
なお、納入方法等については別途お知らせします。

学 部	事 項	金 額
地域学部 62,750 円	TOEIC 受験料	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	助成会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	同窓会費	終身会費 15,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円
工学部 47,750 円	TOEIC 受験料	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	後援会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円
農学部 94,110 円	TOEIC 受験料	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4 年分 1,360 円
	後援会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	同窓会費	終身会費 45,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円

問合せ先

事項		問合せ先	
募集要項・出願手続		学生部入試課	TEL (0857) 31-5061
入学後の生活支援	学寮など (P. 25)	学生部学生生活課 学生支援係	TEL (0857) 31-5058
	入学料・授業料免除, 奨学金など (P. 25)	学生部学生生活課 奨学係	TEL (0857) 31-5059 又は 6776
入学後の教育支援	ノート型パソコン必携 (P. 27)	学生部教育支援課 教務支援係	TEL (0857) 31-6774
その他志望する学部 の受験に関する問合せ	地域学部	地域学部教務係	TEL (0857) 31-5077
	工学部	工学部教務係	TEL (0857) 31-5186
	農学部	農学部教務係	TEL (0857) 31-5342

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学入学試験情報ホームページ

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

スマホ・携帯電話サイト

<https://daigakujc.jp/toridai/>



(スマホ・携帯電話サイト)